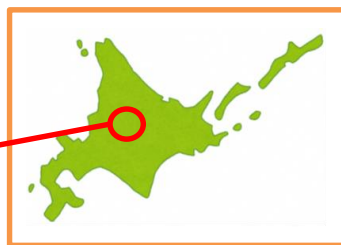


## 取組の概要

計画作成主体：東川町地域農業再生協議会  
 対象品目：ブロッコリー（産地面積107.4ha）  
 主な取組主体：(有)ドリームファームイザワ  
 成果目標：販売額の10%以上の増加  
     基準（H27～29年度平均）266,173円/10a  
     目標（H32年度）318,400円/10a  
 導入施設等：生産支援事業（機械リース）  
     （製氷機 4台、搬氷装置）

北海道  
東川町  
東川町



## ポイント

### 【取組の主題(テーマ)または課題】

作付面積が拡大する中で、現状の製氷能力不足により、市場が求める氷詰め出荷体制が確立できず、ほ場廃棄による出荷制限により、出荷量が伸び悩んでいる実態にある。このことから、製氷能力を増強するとともに、製氷共同選果体制を確立し、販売額の増加を図り、ブロッコリー産地としての強化を目指す。



### 【産地の体質強化に向けた方策】

①全収穫量に対応した製氷能力を有する共同選果体制を確立するため、農業機械のリース導入を支援

## 期待される事業効果

### 【事業実施による直接効果】

- ① ほ場廃棄による出荷調整が解消され、単位面積当たりの出荷量が増加
- ② 水稲からの作付転換による収益性の拡大、農家所得の向上
- ③ 作付面積の拡大によるブロッコリーの産地形成

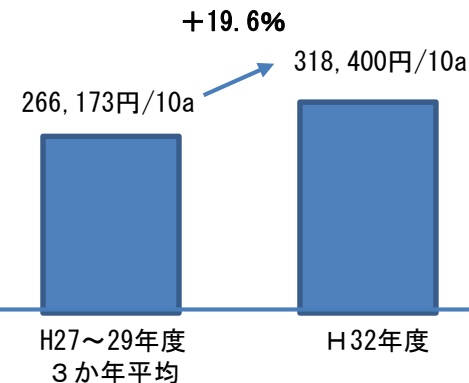
### 【事業実施による間接効果】

- ① 外部委託選果の削減による生産コストの低減

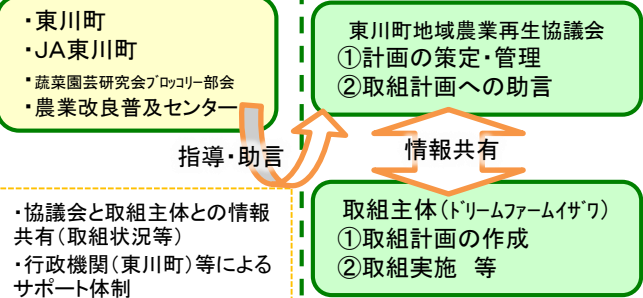


**販売額の増加**

～ブロッコリーの販売額～



## 推進体制



## 地域における独自の取組

### 〈主な取組〉

- ・生産技術専門職員の配置による生産指導体制の強化
- ・関係機関から作業ヘルパーを派遣し、選果作業人員のサポート体制を確立